

バッテリー液の点検・補充

- バッテリーの液量を点検します。
- 液量が下限(LOWER LEVEL)に近かったらバッテリーバンドを外し、バッテリーコードを外します。
- バッテリーを引き出してキャップを外し、蒸留水を上限(UPPER LEVEL)まで補給します。

注意

- 車が傾いていると、液量は正確に計れません。
 - 蒸留水を入れ過ぎると、こぼれて腐触の原因になります。
 - バッテリー液を点検、補給した後はブリーザーチューブがバッテリーエルフボにしっかりと結合されていることを必ず確認してください。
 - ブリーザーチューブがかんだりつまっている、バッテリーの内圧が高くなりケースが破損することがあります。
- 配管は正しいか確認してください。
- バッテリーからは、可燃性の水素ガスが発生していただきますので、取扱うときは、火気を近づけないでください。
 - バッテリー液は、希硫酸で目や皮膚を侵しますので、十分注意してください。万一、付着したときは、すぐに多量の水で少なくとも5分以上洗浄し専門医の診察を受けてください。
 - 充電の際は結線に十分注意し、すべてのキャップを外しててください。また密閉された場所では必ず換気を行なってください。

